



幅広い効果とシャープな切れ味

広い殺菌スペクトラムを有するTPNとべと病・疫病にシャープな効果のシアゾファミドの混合剤

園芸用
殺菌剤

ドーナツ フロアブル[®]

®は登録商標

殺菌剤分類 21,M5

シアゾファミド・TPN水和剤



トマト:疫病



トマト:葉かび病



はくさい:べと病



はくさい:白さび病



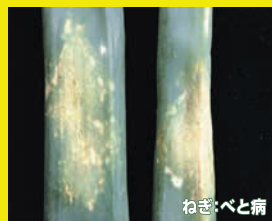
きゅうり:べと病



きゅうり:褐斑病



すいか:褐色腐敗病



ねぎ:べと病



ぶどう:べと病



★4つの特長★

1 ベストな組合せの高性能殺菌剤

べと病・疫病に優れた効果のシアゾファミド(ランマン)と、幅広い病害に安定した効果を発揮するTPNの混合剤です。べと病や疫病に加え他病害が混発、同時発生する場面での基幹防除・ローテーション防除の主力剤として適しています。

2 ユニークな作用機作

シアゾファミドは、新規な化合物グループに属し、他剤と全く異なる作用機作をもっているため、既存剤の耐性菌にも有効です。長年の使用でも耐性菌の発生していないTPNとの混合剤「ドーシャスフロアブル」は、耐性菌管理に有効な薬剤です。

3 優れた基本活性、残効性、耐雨性

「ドーシャスフロアブル」は、高い予防効果(基本活性)をもっています。また、有効成分のシアゾファミドとTPNは、共に残効性、耐雨性に優れているため、圃場での安定した効果が期待できます。

4 まん延防止効果(サンテーション効果)

予防効果主体の薬剤ですが、遊走子のう形成阻害作用に優れ、次世代の菌密度を効率的に抑えるので、未感染葉や周辺株への病害進展を防ぎます。

★適用病害と使用方法★

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量(ℓ/10a)	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアゾファミドを含む農業の総使用回数	TPNを含む農業の総使用回数
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 炭疽病 黒星病	1,000	150~300	収穫前日まで	4回以内	散布	4回以内	14回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布、常温煙霧、くん煙 及びエアゾル剤の 噴射は合計12回以内)
				収穫3日前まで				5回以内
メロン	べと病 つる枯病 うどんこ病	1,000	150~300	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内	6回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布、常温煙霧、くん煙 及びエアゾル剤の 噴射は合計4回以内)
すいか	褐色腐敗病 炭疽病 つる枯病			4回以内				
トマト	疫病 葉かび病 輪軸病	1,000	150~300	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内	6回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布、常温煙霧、くん煙 及びエアゾル剤の 噴射は合計4回以内)
なす	褐色腐敗病 黒枯病			4回以内				
ピーマン	疫病 斑点病	1,000	150~300	収穫前日まで	3回以内	散布	4回以内	6回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布、常温煙霧、くん煙 及びエアゾル剤の 噴射は合計4回以内)
たまねぎ	べと病 灰色かび病			4回以内				
ねぎ	べと病 黒斑病	1,000	150~300	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内	6回以内 (土壌灌注は2回以内、 散布及び無人航空機 散布は合計3回以内)
はくさい	べと病 白さび病 黒斑病 白点病			2回以内				
レタス	べと病 すそ枯病	2,000	200~700	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	5回以内 (土壌灌注は2回以内、散布及び 無人航空機散布は合計3回以内)
ぶどう	べと病 晩腐病 黒とう病			3回以内 (休眠期は1回以内)				
もも	黒星病	1,000	200~700	収穫60日前まで	2回以内	散布	2回以内	6回以内
ネクタリン				収穫前日まで				2回以内

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用直前に、容器をよく振ってください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲のないように注意してください。
- 眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。



- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに、保護クリームを使用してください。



- 作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをし、衣服を交換してください。



- 作業時の衣服等は他と分けて洗濯してください。



- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物には触れないでください。



- 夏期高温時の使用はさけてください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。



- 魚性等…水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼および海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。



- 養殖池周辺での使用はさけてください。
- 使用残りの薬液が生じないよう調整を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。



- 保管…密栓し、直射日光を避け、食品と区別して、冷涼な所に保管してください。

★上手な使い方★

- 浸透移行性のない予防効果主体の殺菌剤ですので、発病初期から使用してください。
- 散布ムラのないよう葉裏にも、ていねいに散布してください。
- 耐性菌対策のため、他剤とのローテーション(輪番)使用を心掛けてください。
- ぶどうに使用する場合、幼果期(小豆粒大)以降の散布は、果粉の溶脱、品種によっては果実に薬害を生じるおそれがあるので、落花直後までに使用してください。
- 無袋栽培のネクタリンに使用する場合、薬液による汚れが生じるおそれがあるので、開花期以降の散布はさけてください。
- 各有効成分の総使用回数に注意して使用してください。

ラベルを守って正しく使いましょう!

適用作物、薬量(希釈倍数)、
使用時期、使用回数を守りましょう
石原は「食の安全」を大切にします

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●小児の手の届く所には置かないでください。

空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。洗浄水は散布液調製に用いるなど、圃場等で使用してください。

本印刷物は2024年4月時点での知見に基づいて作成しています。

